

**今秋～来年にかけて来日する、クラシック音楽界の旬のアーティストたちを大特集！
来日コンサートに行けなくても、注目アーティストのヨーロッパ公演が楽しめる。**

大型無料放送

『クラシカ音楽祭』ようこそJAPAN～注目アーティスト、もっと魅せます！』

11月18日(金)21:00～11月20日(日)放送



日本で唯一のクラシック音楽専門TVチャンネル クラシカ・ジャパン(株式会社 東北新社 東京都港区赤坂4-8-10/代表取締役社長 植村徹)は、11/18(金)21時～11/20(日)の3日間、大型無料放送「クラシカ音楽祭～ようこそJAPAN～注目アーティスト、もっと魅せます！～」を放送します。クラシカ音楽祭は、クラシカ・ジャパンを気軽にご覧頂き、映像で見るクラシック音楽の迫力や奥深さを1人でも多くの方に体感して頂きたい、との想いで2014年11月からスタートしました。

5回目の実施となる今回は、秋から年始にかけて来日するクラシック音楽界の旬のアーティストをフィーチャー。16のアーティスト・オーケストラに関連する番組を放送します。来日コンサートに行く方も、行けない方も、本場ヨーロッパで活躍する来日アーティストたちの貴重映像をお楽しみ頂けます。さらに、HPでは放送を記念して「ザルツブルク・イースター音楽祭2017『ワルキューレ』」の公演チケットが当たるプレゼントキャンペーンも実施中！是非、ご覧ください。

※ 「クラシカ音楽祭」を無料で視聴できるサービスは、「クラシカ音楽祭」特設サイト上でご確認頂けます。

※ 該当サービスへの契約がお済みでない方は、別途、多チャンネル放送サービス契約・費用が必要となりますので、その点なにとぞご注意ください。

左から:『サロネン&バイエルン放送響「北欧の夕べ」』 ©Astrid Ackermann『マシュー・ボーン「眠れる森の美女」2013』 ©Mikah Smillie
『マチェラータ・オペラ・フェスティバル2007「ノルマ」』 ©Alfredo Tabacchini 『ティーレマン「ワイマールのリスト生誕200年コンサート」』 ©Maik Schuck

《放送ラインナップ》

11月18日(金)21:00～

注目の来日ピアニストたち

- ▼内田光子 『内田光子のベートーヴェン「ピアノ協奏曲第4番」』
- ▼チョ・ソンジン 『第17回フレデリック・ショパン国際ピアノ・コンクール第1位「チョ・ソンジン」』
- ▼アリス=紗良=オット 『サロネン&バイエルン放送響「北欧の夕べ」』
- ▼ユジャ・ワン 『ヴェルビエ音楽祭2013「ユジャ・ワン&ゴータイエ・カブソン」』



『ヴェルビエ音楽祭2013「ユジャ・ワン&ゴータイエ・カブソン」』 ©Idéale Audience & Medici.TV

11月19日(土)06:00～

24時間まるごとティーレマン

- ▼『ティーレマン「ワイマールのリスト生誕200年コンサート」』
- ▼『ティーレマン「R・シュトラウス誕生日ガラ2014」』
- ▼『ティーレマン「リングの世界」』
- ▼『ウィーン国立歌劇場2008「ニュルンベルクのマイスタージンガー」』 **ほか**



『ティーレマン&ベルリン・フィル「R・シュトラウスとブルクナー」』 ©Axel Nicklaus

11月20日(日)06:00～

オペラ・スターとオーケストラ

- ▼『ネルソンス「ボストン響 音楽監督就任コンサート」』
- ▼『マチェラータ・オペラ・フェスティバル2007「ノルマ」』
- ▼『ポートレート「エディタ・グルベローヴァ」』
- ▼『ゲルギエフ & マリンスキー『チャイコフスキー: 交響曲第5番』』 **ほか**



『マシュー・ボーン「眠れる森の美女」2013』 ©Hugo Glendinning

詳細はこちら → <http://www.classica-jp.com/fes16aki/> (「クラシカ音楽祭」特設サイト)

【クラシカ・ジャパン】ドイツで誕生した世界初のクラシック音楽専門チャンネル“CLASSICA”の日本版で、1998年に開局した日本で唯一のクラシック音楽専門TVチャンネル。話題のコンサートからオペラ、バレエ、ドキュメンタリーまで、毎月100タイトル以上の音楽番組を放送中。クラシック音楽の名曲を、ホールの臨場感とともに毎日24時間お楽しみいただけます。スカパー！プレミアムサービス(637ch)、スカパー！プレミアムサービス光(637ch)、全国のケーブルテレビ局、ブロードバンドTVでご覧頂けます。

クラシカ・ジャパン <http://www.classica-jp.com> 視聴に関するお問い合わせ先 ■ カスタマーセンター-TEL:045-330-2178 (受付時間:平日9:30～18:30 ※土日・祝日除く)

■本リリースに関するお問い合わせ先 ■
(株)東北新社 デジタルメディア事業部 編成企画部 プロモーション 担当: 林[m-hayashi@tfc.co.jp]
〒107-8460 東京都港区赤坂4-8-10 TEL:03-5414-0305 FAX:03-5414-0433

11月18日(金)21:00～

注目の来日ピアニストたち

21:00～21:45

内田光子のベートーヴェン「ピアノ協奏曲第4番」



2013年ロンドンの風物詩「プロムス」に内田光子が20年ぶりに帰ってきたと大きな話題を呼んだ公演。

©Chris Christodoulou

【内田光子】英国を拠点に活躍。2009年に大英帝国勲章DBEを受勲し、2015年は第27回高松宮殿下記念世界文化賞音楽部門を受賞するなど、1970年第8回ショパン・コンクール第2位から45年経てなお、その活動に世界が注目する人気ピアニスト。

22:15～26:30

第17回フレデリック・ショパン

国際ピアノ・コンクール第1位「チョ・ソンジン」



第17回フレデリック・ショパン国際ピアノ・コンクールで、韓国人として史上初の優勝、さらにポロネーズ賞も獲得した21歳のピアニスト、チョ・ソンジンのコンクール映像を一挙放送。

©B. Sadowski

【チョ・ソンジン】1994年5月28日ソウル生まれ。2008年モスクワで行われた「青少年のためのショパン国際ピアノ・コンクール」第1位、2009年第7回浜松国際ピアノ・コンクールでは15歳で最年少優勝、2011年に17歳でチャイコフスキー国際コンクール第3位、2014年ルービンシュタイン国際ピアノ・コンクール第3位と着々と実績を重ね、2015年10月に開催された第17回フレデリック・ショパン国際ピアノ・コンクールで、韓国人として史上初の優勝、さらにポロネーズ賞も獲得した。

26:30～28:05

サロネン & バイエルン放送響「北歐の夕べ」



日本でも人気のピアニスト、アリス=紗良・オットがバイエルン放送交響楽団デビューとなった2015年1月16日公演。

©Astrid Ackermann

【アリス=紗良・オット】ミュンヘン出身。ドイツ人と日本人の両親をもち、実力と美しさを兼ね備えた、今なお進化し続ける若きピアニスト。

28:05～29:30

ヴェルビエ音楽祭2013

「ユジャ・ワン & ゴーティエ・カブソン」



ユジャ・ワンと1981年フランス生まれのチェリスト、ゴティエ・カブソン。超売れっ子同士がガチンコで組むデュオは、掛け合いの面白さ、自由と閃き、カブソンのイケメンぶり、ユジャ・ワンの衣裳など、見た目も聞く耳もスリル満点。

©Idéale Audience & Medici.TV

【ユジャ・ワン】1987年北京生まれ。10代の少女のような外見とは裏腹に、その卓越したテクニックと抒情性豊かな音色で、いまや世界中で引っ張りだこのピアニスト。

11月19日(土)

24時間まるごとティーレマン

6:00～7:30

ティーレマン「ワイマールのリスト生誕200年コンサート」



©Maik Schuck

リスト生誕200年の2011年10月22日、ティーレマンがシュターツカペレ・ワイマールとフランツ・リスト・ワイマール音楽大学の特別オーケストラを指揮した記念公演の全貌。

7:30～9:20

ティーレマン「R・シュトラウス誕生日ガラ2014」

9:20～14:00

ティーレマン「リングの世界」



©Matthias Creutziger

ティーレマンと、世界的なワーグナー研究家たちがワーグナー生誕200年を記念して映像化された「ニーベルングの指環」を分析しその魅力に迫るドキュメンタリー。

14:00～19:00

ウィーン国立歌劇場2008

「ニュルンベルクのマイスタージンガー」

「2000年にこの作品でバイロイト・デビューを飾ったティーレマンは、世界をリードするワーグナー指揮者の地位を確立した」と最大級の賛辞が寄せられた2008年1月ウィーン国立歌劇場公演。同年秋の来日公演では演目がキャンセルになった、日本人にとっては幻の『マイスタージンガー』。今年9月に51歳で死去したテノール、ヨハン・ポータのヴァルターを見ることができ大変貴重な映像。

19:00～21:00

ティーレマン「ドレスデンのワーグナー生誕200年コンサート」



©Matthias Creutziger

2013年ワーグナー生誕200年を祝して、誕生日前日の5月21日に行われたガラ・コンサート。世界的な人気を誇るヘルデン・テノール、ヨナス・カウフマンが出演。

21:00～25:20

ザルツブルク・イースター音楽祭2013「バルジファル」

25:20～27:55

ザルツブルク・イースター音楽祭2016「オテロ」

27:55～28:00

ティーレマン & ベルリン・フィル「R・シュトラウスとブルックナー」



©Axel Nickolaus

ティーレマンがベルリン・フィル定期演奏会を指揮したコンサート。プログラムはティーレマンの師匠カラヤンが十八番としていたR・シュトラウスとブルックナー。演奏後の静寂まで目が離せない。

11月20日(日)

オペラ・スターとオーケストラ

6:00～8:00

ネルソンス「ボストン響 音楽監督就任コンサート」



©Chris-Lee

2014年ボストン響の本拠地シンフォニー・ホールで行われた就任コンサート。クリスティーネ・オボライスト、ヨナス・カウフマンを迎え、ワーグナー、マスカーニなどのロマンティックなオペラアリアを披露。

【ヨナス・カウフマン】ドイツが生んだ現代最高テノール

8:00～10:55

マチェラータ・オペラ・フェスティバル2007「ノルマ」



©Alfredo Tabacchini

流麗な旋律と劇的迫力、ギリシャ悲劇の格調の高さと人間の切実な情感で、ワーグナーや多くの芸術家を魅了した『ノルマ』。“マリア・カラスの再来”と称されたディミトラ・テオドッシュウが大評判を呼んだ2007年マチェラータ・オペラ・フェスティバル公演。

【ディミトラ・テオドッシュウ】ギリシャ出身。卓越した表現力で世界的な人気を誇る大プリマドンナ。

10:55～12:30

ポートレート「エディタ・グルベローヴァ」



©Sounding Images GmbH

圧倒的な美声と驚異的な歌唱技巧を誇ったソプラノ、エディタ・グルベローヴァの貴重なドキュメンタリー。

【エディタ・グルベローヴァ】コロラトゥーラの女王

13:30～15:10

ヤルヴィ&パリ響2015「リーガー-オルガンお披露目公演」

15:10～19:40

ヤルヴィのシューマン「交響曲全集」(全4曲+ドキュメンタリー)



©Julia Baier

パーヴォ・ヤルヴィと手兵ドイツ・カンマーフィルが地元のライブハウスで行った「シューマン交響曲全集」のライブ映像とリハーサル映像を交えたドキュメンタリー。

20:10～23:50

ブッフビンダー & ウィーン・フィル「ベートーヴェン:ピアノ協奏曲全集」

ウィーンで絶大な人気を誇るルドルフ・ブッフビンダーがウィーン・フィルを相手に弾き振りし話題となったベートーヴェンのピアノ協奏曲全曲映像。

24:20～25:20

メイキング「マシュー・ポーン:眠れる森の美女」

25:20～27:25

マシュー・ポーン「眠れる森の美女」2013



©Mikah Smillie

マシュー・ポーンのカンパニー「ニュー・アドヴェンチャーーズ」として最大のヒットを記録した。

27:55～28:55

ゲルギエフのショスタコヴィチ「交響曲第5番「革命」」

28:55～30:00

ゲルギエフ & マリンスキ「チャイコフスキー:交響曲5番」